

土砂災害から命を守るために



1. 土砂災害警戒区域を確認しましょう

「土砂災害警戒区域」は土砂災害のおそれが高い区域です。
普段からお住まいの場所が警戒区域に指定されているか、県のホームページや市町村から配布されているハザードマップで確認しましょう。

■ぎふ山と川の危険箇所マップ
(郵便番号の入力だけで簡単に土砂災害警戒区域がわかります)

<http://kikenmap.gifugis.jp/>

■土砂災害防止法ポータル
(土砂災害警戒区域がわかるほか、土砂災害防止法が学べます)

<http://portal.gifugis.jp/sabo/danger/portal.html>

ぎふ山と川

検索

ぎふ土砂災害防止法ポータル

検索

2. 前兆現象を感じたら早めに避難しましょう

土砂災害の発生前には、異常を知らせる前兆現象が現れることがあります。
雨が降っていなくても周辺で前兆現象を見聞きしたら、最寄りの市町村役場や県土木事務所へ連絡していただくとともに、近所で声をかけあって早めに避難しましょう。

土砂災害の前兆現象

がけ崩れ



- 普段にはない山水が出ている
- 地響きのような音がある
- がけからの水が濁る
- がけに亀裂が入る
- 小石がパラパラ落ちてくる

土石流



- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 川の流が濁ったり流木が混ざりはじめる

地すべり



- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水がふき出す

資料提供 NPO法人 土砂災害防止広報センター